

自主企画まなび助成制度
申請書

記入例

次のとおり学習会を企画しましたので、申請します。

提出する日を書いてください

申請日		令和 7 年 5 月 10 日				
グループ名		〇〇〇〇〇〇				
構成人数		7 名 (内、市内在住・在勤・在学者 5 名)				
代表者	氏名	〇〇 〇〇		☐ 在住	☐ 在勤	☐ 在学
	住所	浦添市〇〇〇X丁目X-X		連絡先	090-XXXX-XXXX	
	勤務先・学校名	※在勤・在学者のみ記入				
担当者	氏名	同上		連絡先	同上	
	メールアドレス	〇〇〇〇〇〇〇〇@〇〇〇〇.co.jp				

責任者として、申請から実績報告書の提出まで事務局とやりとりできる方を記入してください

学習会名 (講座名)		スマホ安心安全講座				
学習目標		携帯大手キャリアの3G回線サービス提供の順次終了に伴い、スマホを使わざるを得ない時代になってきた。様々なトラブルについて正しい知識を身につけ、快適なスマホ生活を送ることを目的とする。				
主な場所		〇〇児童センター				
学習会の様子		☒ 講座の様子(写真等)を、公民館の各種報告に使用することに同意します				
第1回	日時	令和 7 年 6 月 1 日 (日) 19 時 0 分 ~ 21 時 0 分				
	講師	氏名	〇〇 〇〇 (本名)		支払先	☒ 個人 ☐ 法人(会社)
		住所	浦添市〇〇〇X丁目X-X		連絡先	090-XXXX-XXXX
内容	「スマホ依存について」 臨床心理士を招いてスマホの過剰使用によって生じる影響(人間関係・食生活・睡眠・心理面・身体面)を学ぶ					
第2回	日時	令和 7 年 7 月 1 日 (火) 19 時 0 分 ~ 21 時 0 分				
	講師	氏名	同上		支払先	☒ 個人 ☐ 法人(会社)
		住所	同上		連絡先	090-XXXX-XXXX
内容	「ネットいじめについて」 ネット上での誹謗中傷をはじめ、ネットが持つ匿名性の怖さから簡単に被害者にも加害者にもなってしまう現状を学ぶ					
第3回	日時	令和 7 年 8 月 1 日 (金) 19 時 0 分 ~ 21 時 0 分				
	講師	氏名	〇〇 〇〇 (代表者 〇〇 〇〇)		支払先	☐ 個人 ☒ 法人(会社)
		住所	浦添市〇〇〇X丁目X-X (〇〇会社)		連絡先	090-XXXX-XXXX
内容	「サイバー犯罪について」 警察を講師に招いて、ネット詐欺をはじめ、迷惑勧誘メール等、犯罪に巻き込まれないために身近な実例から対応方法を学ぶ					

法人へ支払いの場合、会社の住所・代表者をお書きください

※職員記入欄

学習内容区分番号	過去実績	講師債権者登録
—	☐ 有 直近 (年度) ☐ 無	☐ 有 ☐ 無

自主企画まなび助成制度

実績報告書

記入例

浦添市教育委員会 教育長 殿

次のとおり講座を実施しましたので、報告します。

提出日	令和 7 年 9 月 1 日
グループ名	〇〇〇〇〇〇
代表者名	〇〇 〇〇

学習会名 (講座名)	スマホ安心安全講座		申請書で記入した内容をお書きください			
学習目標	携帯大手キャリアの3G回線サービス提供の順次終了に伴い、スマホを使わざるを得ない時代になってきた。様々なトラブルについて正しい知識を身につけ、快適なスマホ生活を送ることを目的とする。					
実施期間	令和 7 年 6 月 1 日 ~ 令和 7 年 8 月 1 日					
学習会回数	全	3	回	参加者数	全回数(延べ)	20 名
グループ 構成員	氏名	〇〇 〇〇		☒	在住	浦 添 中学校区 ☐ 在勤 ☐ 在学
	氏名	〇〇 〇〇		☒	在住	仲 西 中学校区 ☐ 在勤 ☐ 在学
	氏名	〇〇 〇〇		☒	在住	仲 西 中学校区 ☐ 在勤 ☐ 在学
	氏名	〇〇 〇〇		☒	在住	仲 西 中学校区 ☐ 在勤 ☐ 在学
	代表者を含む5名の氏名を記入ください 5名以上で構成される場合は、選抜で構いません			☐	在住	中学校区 ☒ 在勤 ☐ 在学
上記以外の 参加者	第3回のみ、中・高生5名が参加					

グループ以外の参加者がいる場合記入してください

▼ 各回の実施内容

第 1 回	日 時	令和 7 年 6 月 1 日 (日) 19 時 0 分 ~ 21 時 0 分			
	場 所	〇〇〇〇		講師名	〇〇 〇〇
	参加者数	5 人	学習形態	☒ 対面形式	☐ オンライン
	内容詳細	スマホの使い過ぎが習慣化すると、情報のインプットが多すぎて「脳疲労」の状態に陥り、脳の情報処理機能が低下してしまう。また、長時間の使用により、スマホ首と呼ばれる肩こりや頭痛、眼精疲労やドライアイなど、身体へ及ぼす影響も大きい。このような症状が悪化すると、うつ病になる場合がある。通知設定や利用時間等、快適に過ごすためのポイントを学んだ。			
第 2 回	日 時	令和 7 年 8 月 1 日 (金) 19 時 0 分 ~ 21 時 0 分			
	場 所	同 上		講師名	〇〇 〇〇
	参加者数	5 人	学習形態	☒ 対面形式	☐ オンライン
	内容詳細	高齢者のネット詐欺被害が急増している現状と最近の巧妙な手口を学んだ。宅配業者を装った不在通知やマイナンバー制度に便乗した不正な勧誘や個人情報の取得が横行しているなど、日常生活にうまく溶け込んでおり判別が難しい。対策としては、知らない番号やメールが届いてもクリックしないようにすることが鉄則であり、周りの人や警察、あるいは国民生活センターに相談すること大切である。			
第 3 回	日 時	令和 7 年 9 月 1 日 (月) 19 時 0 分 ~ 21 時 0 分			
	場 所	〇〇〇〇		講師名	〇〇 〇〇
	参加者数	10 人	学習形態	☒ 対面形式	☐ オンライン
	内容詳細	SNSに投稿した写真には多くの情報が入っている。背景や撮影場所、撮影時間から、意図しない形で個人情報の流出やプライバシー・著作権・肖像権の侵害など、様々なリスクを学んだ。また、ネットタトゥーと呼ばれるほど、ネット上に一度投稿した情報は取り消せない。SNSという便利な情報共有ツールをうまく利用する上で、他の人が嫌がる可能性のあることはしないというのが最低限のルールであり、マナーである。			
学 習 目 標 対 する 成 果		学習前と学習後の成果(あるいは、講座を通してみえた今後の課題)をお書きください スマホが便利で主流になっているからこそ、それに伴うリスクやルールを軽視してはならない。意識付けができた今、より安全で快適なスマホライフを過ごすためにも、子供たちだけでなく、これからスマホに変えざるを得ない方(特に高齢者)が抵抗をもたないように、どのように便利さやリスクを伝えていくかが課題である。今回は、シニア向けのスマホ講座を企画したいと思う。			
参 加 者 の 主 な 感 想 (※ 別 添 可)		講座全体を通じて、あるいは第〇回について等、参加者からの感想を集約し、お書きください ・スマホの便利さは日々実感しているが、そこに潜む様々なリスクと対処法を学ぶことができてよかった。 ・Instagramに興味があり、近々は始める予定だが、投稿する際の留意点はとてもいい意識付けになった。 ・警察の方から直接話が聞けたのは、危機感と同時に安心感もあり、より身近に感じる事ができた。万が一トラブルになった時の相談先を教えてもらえたこともよかった。			
講 座 の 様 子		☒ 写 真 データ(3~5枚)送信済み			

※送付先 kominkan@city.urasoe.lg.jp

記入例

自主企画まなび助成制度
変更・中止届

浦添市教育委員会 教育長 殿

「開設承認通知書」の右上に記載されています

令和 7 年 5 月 19 日付、浦教社第 1 号で承認のありました学習会について、
次のとおり届け出ます。

令和 7 年 6 月 10 日

提出する日を書いてください

自治公民館名	〇〇〇〇	代表者名	〇〇 〇〇
--------	------	------	-------

講座名	スマホ安心安全講座
-----	-----------

☒ 変更

※学習の内容が大きく変更となった場合は、再度申請手続きが必要となります

変更箇所	☒ 講師 ☐ 代表者 ☐ 回数 ☐ その他
理由	講師の都合により
変更前	第2回 〇〇〇〇氏
変更後	第2回 〇〇〇〇氏 住所 浦添市〇〇〇X丁目X-X 連絡先 080-XXXX-XXXX

☐ 中止

※全回中止の場合のみ

理由	
----	--